

～水源環境保全税を活用した河川整備の取組み～

## メダカも喜ぶ河川整備

水源環境保全税を活用した事業を水チームがモニターしてきました。

酒匂川は富士山と丹沢山を源流とした足柄平野を潤す川で、横浜・川崎をはじめ神奈川県内の水道の約30%の水を供給する大変重要な河川です。

この酒匂川の水道の取水口（飯泉取水堰）付近に合流する小田原市桑原の水路では、地域住民と一体となって「小田原メダカ」生息地の保全を目指した川づくりを行っています。

また、上流の開成町では、水田に張り巡らされた水路の一部を水辺植物・カキツバタにより水質浄化する事業などを行っています。

今回は、この2つの市町の特徴のある河川整備の取組みについてモニターしました。

今後とも、環境にやさしく自然に配慮した河川整備の推進と、水質の向上に期待していきたいと思っています。

### <モニター事業の概要>

●かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画での位置付け

特別対策事業6「河川・水路における自然浄化対策の推進」

●モニター事業及びモニター箇所

①生態系に配慮した河川・水路等の整備（小田原市桑原）

②河川水質浄化事業（開成町吉田島ほか）

○水辺植物による水質浄化事業

○バイオコード\*による水質浄化事業

\*バイオコードとは、水中に設置したひも状接触材で、これに微生物が付着増殖することにより、有機物を分解して水を浄化する機能をもつもの



【小田原市】



【開成町】



## 事業モニターした県民会議委員の感想・意見

### 小田原市の事業について

あま ない  
天内委員（公募委員）

きれいな水がふんだんに流れて、メダカや小魚が群れ泳ぐ地域環境は、都市住民にはうらやましい限りで、環境回復をぜひ見習いたいと思います。また、小川の生き物の保全に熱心な大勢の人たちの活動は、非常に参考になります。

牧島委員（公募委員）

少し掘れば酒匂川の河床を流れている水を汲み上げることができることもあって、清く豊かに水路を流れている様子から、この地域の水資源の豊かさを知ることができました。

高橋（弘）委員（公募委員）

河川整備事業の完了は、「生態系に配慮した河川・水路のスタート」ですので、これから適切な維持管理が継続して実施されることを期待します。

高橋（二）委員（公募委員）

「小田原メダカ」等の保全の取組みが他の地域にも広がるように、また、継続して次世代へのつながりが持たすように、一過性で終わらないように市民として見守ります。

### 開成町の事業について

あさ えた  
浅枝委員（埼玉大学大学院理工学研究科教授）

縦横に張りめぐらされて、水量、水流ともに豊富である小河川は、他地域にないポテンシャルを持ち、新しい観光資源にも結びつく公算は大きいと思います。

長谷川委員（公募委員）

河川の水質浄化、生態系保全である「バイオコード」「カキツバタ」事業は、点でなく面としてとらえて計画していくことが重要であり、個別計画のなかでも、広がりを持って計画することが必要だと思います。

### 全体のまとめ

柳川委員（公募委員）

「小田原メダカ」を守ろうとしている地元地域の人たちとも協力関係ができており、将来的に良好な保全状態が期待できます。

酒匂川に合流する地点までの水質改善をどういう形で保全できるかが今後の課題だと思いました。

水源環境保全・再生かながわ県民会議コミュニケーションチーム

神奈川県政策部土地水資源対策課計画調整班

横浜市中区日本大通1 TEL (045) 210-3106 (直通)

URL : <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/01/0104/suigenkankyo/index.htm>

※水源環境保全・再生かながわ県民会議とは、水源環境保全税を使って行う施策に県民意見を反映させるために県が設置した組織です。一般県民・学識者など30名からなり、市民団体への支援や県民フォーラムの開催などを実施しています。このニュースレターは、委員が森チームと水チームを組織し、チームごとに現地に行き、県民の目線で事業をモニターした結果を、同じく委員で組織するコミュニケーションチームがまとめたものです。



# 生態系に配慮した河川水路の整備

～小田原メダカの生息しやすい環境をめざします～

## 生態系に配慮した河川・水路等の整備

【場所】小田原市桑原（鬼柳桑原排水路）

【目的】環境バロメーターである野生メダカをはじめとした多様な水生生物が生息し、県民の飲料水の源でもある酒匂川に注ぐ鬼柳桑原排水路において、自然石や間伐材を用いた整備を進め水辺の生態系の保全・再生を図ることにより、自然浄化機能を高める。

【概要】（平成19年度）  
多自然型水路整備（自然土法・杭護岸・アンカー式空積護岸等）  
整備総延長 979.3m  
用地買収 380.0㎡  
水質測定（施工前・施工後）

【事業費】（平成19年度）  
116,639千円



空積護岸等整備現場

## Q&A (Question & Answer)

**Q.01** 小河川の河床の砂質・レキ質の維持が水質向上のために必要だと思いますが、何か注意していることはありますか？

**A.01** 水質向上を図るため、河床に玉石を所々配置し、また上流の水門操作により水量を調節することで土砂の堆積がないよう対処しています。

**Q.02** 小河川の工事完成後の保守管理体制のあり方を行政と地元住民・関係者で相互補完していくべきではないですか？

**A.02** この川については、工事前から地元住民の理解と協力、そして自然を守ろうとする人たちとの連携を行っています。工事完成後も官民一体で協働して良好な管理に努めます。



自然法面による整備現場



水質状況を見ている様子



事前勉強会の様子

# 水辺植物などによる水質浄化

～開成町では植物などにより川の水をきれいにしています～

## 河川水質浄化事業

●水辺植物による水質浄化事業

【場所】開成町吉田島（上島水路）

【目的】飯塚取水堰上流に位置する開成町内のCOD（化学的酸素要求量）が6 [mg/ℓ] 以上の河川・水路に対して、水辺植物による直接浄化対策を実施し、水質の向上を図る。

【概要】（平成19年度）  
整備箇所 1路線 80m/両面  
水辺植物（カキツバタ）の植栽  
水質測定（施工前・施工後）

【事業費】（平成19年度）  
1,523千円

●バイオコードによる水質浄化事業

【場所】開成町吉田島（河原町水路） 延沢（開成町役場前水路）

【目的】コンクリート三面張り水路等の底面に水質浄化作用のあるバイオコードを設置し、水質改善を図る。

【概要】（平成19年度）  
バイオコード設置（アマモタイプ）30m区間  
水質測定（施工前・施工後）

【事業費】（平成19年度）  
2,528千円



カキツバタの植栽現場



水路の中にあるバイオコード

## Q&A (Question & Answer)

**Q.01** 水路とカキツバタとの間に板の土止めがありますが、この板があると効果がないではありませんか？

**A.01** 水路の水際のカキツバタがしっかり根付いたら土止めは外します。

**Q.02** 水路にバイオコードを設置した障害はありますか？メンテナンスはどの様に実施しますか？

**A.02** 水があまりない時は、ゴミがかかって困っています。ゴミは定期的に取り除いていますが、それ以外のメンテナンスは当面必要がないと考えています。

## ※特別対策事業

特別対策事業12事業のうち、評価・検証事業を除いた9事業について、順次モニターを実施しています。

- 1 水源の森林づくり事業の推進
- 2 丹沢大山の保全・再生対策
- 3 溪畔林整備事業
- 4 間伐材の搬出促進
- 5 地域水源林整備の支援
- ⑥ 河川・水路における自然浄化対策の推進
- 7 地下水保全対策の推進
- 8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進
- 9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進

（○印は今回モニターした事業）

## 個人県民税の超過課税による水源環境保全・再生への取り組み

県では、平成19年度から個人県民税の超過課税を県民の皆様へお願いし、納税者一人当たり平均して年額約950円をご負担いただいています。これによって、森林の保全・再生のほか、河川や地下水の保全・再生、ダム集水域での生活排水対策など「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」（計画期間：平成19年度～23年度、事業費約190億円）に位置付けた12の特別対策事業※を推進しています。